

### 「荒奨学金制度」積極的にPRする考えは

### PRの方法や時期等を今後、研究したい

前川 浩子議員 国際化は私たちの身近な暮らしの中にも顕著になってきており、今後、国際交流・国際理解はますます重要性を増すと考える。

本市には、海外留学時やホームステイなどに資金を貸し付ける「荒奨学金制度」があるが、国際社会に生きていく子どもたちを、市がバックアップしている姿勢を、より一層打ち出すべきだと思ふ。

そこで、同制度を積極的にPRすべきと思うがどうか。学校教育部長 府中市学校教育プラン21の基本理念にある、世界に活躍する府中つ子を育てるためにも、同制度の利用促進は、意義あることだと認識している。

同制度の周知・PRは、現在、ホームページや広報等で行っている。

今後、ふるさと府中が子どもたちの将来をサポートしているというメッセージが伝わるよう、方法や時期などを研究していきたい。

他 障害者自立支援法施行に向けて

平成18年第1回臨時会は

5月15日(月)

第2回定例会は

6月12日(月)

ともに午前10時開会予定です。

## 常任委員会からの審査報告

### 総務委員会

#### 第21号議案

#### 平成18年度府中市競走事業特別会計予算

本予算の総額は、829億395万1千円で、前年度に対し4.0%の減となっている。

歳入の主なもの、勝舟投票券発売収入、入場料収入、場外発売事業収入等となっており、勝舟投票券発売収入は前年度比2.2%の減となっている。

一方、歳出は、競走開催費、一般会計への繰出金、競走事業運営調整基金費等となっており、競走開催費は場外発売事業費を含めて前年度比4.0%の減となっている。また、平成18年度末の基金積立金は、目標額の40億円に達する見込みとなっている。

質疑に対して、「18年度は、選手のトークショーなどのイベントを実施するとともに、電話投票やインターネット等を充実させてファン層の拡大に努めたい」、「繰出金については、競走事業運営調整基金を減額していることを考慮し、前年度比で2億円増額した」、等の答弁があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

### 文教委員会

#### 第8号議案

#### 府中市立府中第三中学校校舎改築工事請負契約

この議案は、府中市本町4丁目16番地において、府中市立府中第三中学校の校舎改築工事を施工するもの

工事の主な内容は、「鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上3階建ての、延床面積8956.66㎡の規模の改築工事で、契約金額14億9100万円を仮契約を締結している」等の説明があった。

質疑に対して、「普通教室の数については、3学年分15教室と多目的教室3教室、合計で18教室となっている」、「図書室の面積については、現行よりも13㎡広い184㎡としている」、「トイレについては、和式4に対し洋式6の比率となっており、床はドライ方式としている」等の答弁があった。

委員から、「各学校の図書室については、今後、校舎の改築や耐震改修にあわせて見直しを行い、充実を図ってもらいたい」等の意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

### 厚生経済委員会

#### 第6号議案

#### 府中市介護保険条例の一部を改正する条例

この議案は、介護保険法の一部改正による関係用語の変更及び第3期介護保険事業計画における保険料額の見直し等により、所要の改正を行うもの

主な内容については、「第3期介護保険事業計画における保険料等の見直しにより、従来、年間1万7800円から6万9300円までの6段階としていた保険料を、平成18年度からの3年間については、年間2万1300円から8万2900円までの7段階に改めるものである」等の説明があった。

質疑に対して、「地域支援事業費の財源内訳は、包括的支援事業については、国が40.5%、都及び本市がそれぞれ20.25%。また、介護予防事業については、国が25%、都及び本市がそれぞれ12.5%で、それ以外は保険料を充てることとなっている」、「市の激減緩和措置は、18年度と19年度の保険料を同額としていることに特徴がある」、等の答弁があった。

採決の結果、本案については、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定した。

### 建設環境委員会

#### 第7号議案

#### 府中市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

この議案は、建築基準法の一部改正に伴い、公共事業の施行等に伴う敷地面積の縮小に対して、敷地面積の最低制限の適用を除外する旨の例外規定を追加し、また、新たに、日鋼町地区・地区計画の区域のうち、地区整備計画が定められた区域内の建築制限を追加するもの

質疑に対して、「日鋼町地区のまちづくり協議会と相談した結果、行政の積極的な関与によって、当該地区の適正な土地利用を行っていききたいという考えが地域でまとまったことにより、今回の条例改正を提案することになった」等の答弁があった。

委員から、「今後、地域のまちづくりを考える協議会等が自発的に立ち上がった際には、アドバイスや情報提供などを行ってもらうことを要望し、本案に賛成する」等の意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

## 特別委員会からの中間報告

### 基地跡地対策特別委員会

調布基地跡地の状況に関しては、調布基地跡地関連事業推進協議会が、平成18年2月に開催された。その内容は、同飛行場の管理運用形態の変更等について、航空管制業務に代わる情報提供業務を、(財)小型航空機安全運航センターに委託すること及び国から都へ業務引継を適切に行うとともに、国の管制官を都の職員として受け入れ同飛行場に配置することなどの説明があった。

また、榊原記念病院東側の用地については、病院側より、用地の取得を断念する旨の返事があった。

次に、府中基地跡地留保地の状況に関しては、国立医薬品食品衛生研究所の移転に係る住民説明会の実施について、同研究所、国及び本市の三者で協議し、概要がまとまった。今後、説明会の開催結果を、当該留保地の利用計画に反映したい等の報告があり、これを了承した。

### 再開発対策特別委員会

府中駅南口A地区市街地再開発準備組合の活動状況は、施設計画検討会が平成17年度に5回開催され、17年12月には「商業・業務・住宅」の複合施設案が提案されたが、準備組合内部から「府中の表玄関としてふさわしい施設づくり」、「けやき並木との調和」などについて、さらに検討が必要との意見が出されたため、引き続きコンサルタントにより計画素案の作成を行っている。

また、準備組合に加入していない地権者や借家権者へは、面談等を実施し、参加の働き掛けをしている。

府中駅南口第三地区市街地再開発組合では、3月末にはすべての清算を完了している。その後、7月までには、都に組合解散認可の申請書を提出し、9月までには解散認可を得たいとしている等の説明があり、これを了承した。

### 鉄道対策特別委員会

西府土地区画整理組合の状況については、地権者説明会が平成18年3月に開催され、事業計画の変更案について説明があった。主な変更内容は、駅舎建設に必要なJR用地が確定し、面積が減少したことによる、保留地面積の増や歩行者専用道路の新設、そして公園の形状変更などである。

工事等の進捗よく状況については、南武線南側における駅前区画道路、同北側における地区西側周辺の区画道路築造工事等が施工されているほか、同北側の駅前周辺の埋蔵文化財発掘調査等が行われている。

JR東日本との協議については、駅舎詳細設計に係る17年度業務の一部として、ホーム設置場所の地質調査等が行われている等の報告があり、これを了承した。